

令和7年度 ふじみ野小学校学校だより 9月号

スマイル

ふじみ野Smile



「教師が、児童が、気力に溢れ、真剣な眼差しと笑顔に満ちた学校」

「熱中症対策～屋内で熱中できること～」

校長 大畠 仁

2学期が始まりました、保護者・地域の皆様には、引き続きふじみ野小学校の教育活動へのご理解と支援を賜りますようお願いいたします。

さて、この夏も暑さが厳しく、最高気温が更新されるほどでした。ひと昔とは生活スタイルも変わってきています。外出を控えたり、海やプール、キャンプなどではなく屋内で過ごせる場所へ出かけたり、暑さ対策グッズも手放せないようになったりと大きく変わってきていると思います。

学校生活も変わってきています。通学時には日傘をさしたり、首を冷やす保冷剤を身に着けたり、スポーツドリンクも暑さの厳しい10月末まで推奨し、熱中症対策をしています。そのような中、とても憂慮しているのは、外での学習や活動、遊びを制限する日がとても増えることによる児童の体力の低下です。人間には運動欲求があり、特に小学校児童はその欲求が強く、外での遊びや運動制限によるストレスの蓄積が心配されます。体育館にラインテープを貼っていつでも反復横跳びの記録を伸ばすことができるよう環境を整備し体力アップを図っていきます。運動量を十分に確保することは困難ですが、児童が生き生きと学校生活を送れるよう、屋内で過ごす時間が増えたことを逆手に取り、屋内での過ごし方を工夫して、児童が創造したり、熱中したりできる学習や活動を展開していきたいと思います。

例えば、学級活動です。学級活動の目標は、「学級や学校での生活をよりよくするために課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して、協力したり実践したりして、自主的、実践的な取り組みを行うことで協働する力、解決力、実践力などの非認知能力を向上すること」にあります。本校は、非認知能力にスポットを当てていますので、学校行事や学級活動を重点の一つとしています。学級活動では、学級が楽しくなるためとか、学級の児童の人間関係を深めるためとかをめあてに係活動を行うことが多いです。どのような係があればよいかをみんなで考え、自分の力を生かせる係になります（どの係になるかは児童が決めるので必ずしも自分の得意とする係にならないこともあります）。そして、自由に発想し創造し、係活動の内容を自分たちで決めて取り組みます。これは、非認知能力を高める効果的な取り組みですし、「クラスのために～しよう」というのは、目指す学校像の「気力」の概念でもあります。児童が生き生きと活動する姿が多くみられるよう学校行事や学級活動に力を入れていきたいと思っています。2学期が始まったらすぐに各学級で係活動を決めるとしています。ご家庭でぜひ、何係になったのか、どうしてその係になったのか、どのようなことができそうか、など会話をしやる気をあげていただければ幸いです。

さて、残暑厳しい折から、寒さで布団から出られなくなる12月までの長丁場の2学期が始まりました。児童が気力に溢れ、真剣な眼差しと笑顔溢れる学校を目指し、私たち教職員も創造性や協働性を発揮してまいりたいと思います。